



## 統計的パターン認識法の研究と異分野への応用 パターン認識、アスベスト検出、細胞内画像処理

技術分野分類 1202：知覚情報処理、1206：知能ロボティクス

技術キーワード パターン認識、画像情報処理

産業分類 G-39：情報サービス業

内 容	概 要	異分野の知見をヒントにして新しいパターン認識の方法を考案する。それらを基に顕微鏡画像からのアスベスト検出や細胞内画像からの輝点計数や対象追跡に応用している。人や車の検出、追跡にも応用可能である。また、シーン認識、画像理解、人の行動認識等の研究も行っている。
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	統計的パターン認識法の代表的な応用例は顔検出ですが、それ以外の分野でも役に立ちます。実際に現在は人が行っている作業である建築材料中のアスベスト検出や細胞内画像の輝点検出をコンピュータに行なせることができます。
	本技術の有用性	特定の対象だけを自動計数することもできますし、様々な形や色の粒子を計数することもできます。同じことが細胞内画像からの粒子計数や粒子追跡にも応用できます。また、時々刻々と変化する環境下でも認識法自体を適応的にすることにより安定した認識が可能となります。
関連情報 (図・表・写真等)		 <p>パターン認識によるアスベスト検出      色や形の異なる粒子の検出例</p>
適用可能製品		車載カメラ、デジタルカメラ、監視カメラ、顕微鏡画像等に利用可能
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	堀田 一弘 (ほった かずひろ) 名城大学 理工学部 電気電子工学科 教授
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	名城大学 学術研究支援センター 052-838-2036 / 052-833-7200 <a href="mailto:sangaku@ccml.meijo-u.ac.jp">sangaku@ccml.meijo-u.ac.jp</a>

■知的財産

■試作品状況

無



提供可

作成日 2013年10月11日